

進路・キャリア×探究セミナー レポート

探究・進路学習を生徒の「マイ・ストーリー」の構築につなげるためのポイントとは

——これからの「総合的な探究の時間」と進路学習について考える——

総合型選抜や学校推薦型選抜（以下、年内入試）では、生徒は志望理由書や面接などを通じて、これまでの学びや活動、その成果や結果に至るまでの過程、今後の展望である「マイ・ストーリー」を、他者に伝えることが求められる。そこで、ベネッセ教育情報センターでは、探究学習と進路学習の2つの視点から「マイ・ストーリー」を構築する力を育てている事例を紹介するウェブセミナーを実施した。

探究学習・進路学習における課題

多くの教師が感じる

「探究学習と進路学習の連携」の難しさ

2つの視点で

「マイ・ストーリー」を描かせる

年内入試において大学側が最も重視しているのは、明確な志望理由を含む「マイ・ストーリー」の構築である。そこで期待されるのが、探究学習と進路学習の連携だ。「総合的な探究の時間」の「学習指導要領解説」(*)には「[自己]の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し、解決していくような学び」が求められると述べられており、探究学習は進路・キャリアと

密接な関係にあることが読み取れる。

しかし、「探究学習を頑張った生徒でも、探究学習での学びや経験を、将来どのように生かしたかをなかなか言語化できない」「探究テーマが学部や職業選択につながる生徒が少ない」といった全国の教師の声が示すように、生徒の探究学習と進路学習における学び・経験をうまくつなげられていないのが現実だ。また、今回のセミナー参加者へのアンケートで「総合的な探究の時間」における進路指導部のかかわりについて聞いたところ、「特になし」

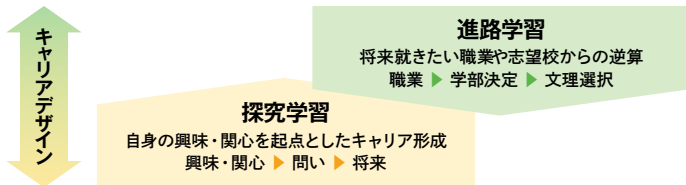
という回答が最も多く見られたことから、進路指導部と探究学習を担当する分掌との組織的な連携も課題だ。

「総合的な探究の時間」と進路学習は、それぞれの目的が、進路選択における自分の軸を見つけ、将来どのように生きていきたいかを生徒が考えるという点で共通している。そこで「総合的な探究の時間」と進路学習の連携を深めるヒントを得るべく、今回のセミナーでは、熊本県立宇土中学校・宇土高校の実践事例を紹介した。

将来就きたい職業や志望校を起点にした「なりたい自分」と、探究学習で明らかになった興味・関心を起点にした「したい自分」という2つの視点(図1)からの「マイ・ストーリー」構築の支援について、次ページから見たい。

進路と探究、2つの視点でキャリアをデザインする

図1 2つの視点からの「マイ・ストーリー」の構築



将来就きたい職業や志望校からの逆算的な視点(=なりたい自分)と、自身の興味・関心を起点とした視点(=したい自分)の2つの視点から「マイ・ストーリー」を描く。

*セミナーの内容を基に編集部で作成。

*1 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編」

探究から進路・キャリアへ

何がつながるのか、何をにつなげるのか

熊本県立宇土中学校・宇土高校 後藤裕市

探究学習で
生徒の過去と未来をつなぐ

宇土高校では2023年度、探究学習の推進において中心的役割を担ってきた研究開発部と進路指導部を統合し、探究部とした。探究部の部長であり、進路指導主事の後藤裕市先生は、「進路の目標を早期に明確にした上で、そこに到達するために必要な力を身につけていきたいが、1年次から目標が明確になっている生徒は少ない。また、興味・関心のあるテーマで探究学習に取り組んでも、それだけでは将来の目標につながりにくい。だからこ



熊本県立宇土中学校・宇土高校
後藤裕市
ごとう・ゆういち

同校に赴任して12年目。探究部長・進路指導主事・指導教諭。理科（生物）。

探究テーマから自分の思いや強みに気づかせる

図2 自分と探究テーマの関係を整理するシート

モジュール	観 点	ロジックリサーチ
I-1	Innovative (革新性)	感覚の変化 自分の認識・感覚を変えるレポートができる
<p>テーマ設定の際、自分自身と探究する内容の間にはどのような関係があるのかをみつめましょう</p> <p>1. テーマ設定 「ロジックリサーチ」テーマ調査用紙に「テーマ」と「探究概要」を記入して提出します。探究概要では、探究の方向性や題材を中心に簡単に記述してください。</p> <p>2. テーマ設定の背景と関連事項 「ロジックリサーチ」のテーマの背景と関連事項について、整理しましょう。</p> <p>テーマ</p> <p>自身の興味・関心との関連(テーマ設定の動機)</p> <p>自身の経験・体験との関連(主に高校入学前)</p> <p>自身の経験・体験との関連(主に高校入学後) 授業 ロジックプログラム(科学史講座・前年度発表会など)</p> <p>自身の将来・目標との関連(主に高校卒業後)</p>		

探究テーマについて、「興味・関心との関連」「高校入学前の経験・体験との関連」「高校入学後の経験・体験、授業との関連」「将来・目標との関連」の4つの視点で深掘りし、探究テーマを自分事化させている。

※学校資料をそのまま掲載。

そ、ベクトルの異なる2つのアプローチの両方を大切にすることで、生徒の主體的なキャリアデザインを支援できるのではないかと考えた」と、組織改編のねらいを振り返った。

新設した探究部では、生徒と保護者

に対して、志望理由書や自己推薦書は進学であっても就職であっても求められるものであることと、それらの書類や面接などを通じて、過去の経験から未来のビジョンまでをつなげて「マイ・ストーリー」として語るものが求められており、過去と未来をつなぐ高校時代の学び・経験の1つが探究学習であることを丁寧に伝えていくという。

同校では、探究学習を通して育成を目指す資質・能力を「LOGIC」(＊2)として整理し、高校1年次の前半

に1人1テーマの探究学習に取り組ませる。1年次の後半は個人またはグループでプレ課題研究に取り組みさせ、2年次、3年次の課題研究に発展させる。また、インターンシップや外部研修などの機会を通して、大学の研究者や自治体、企業、地域の社会人と接することで、生徒は探究テーマを深めながら、自身の将来に関連する問いを見つける。

探究テーマは、過去の経験や体験、将来の目標と関連づけながら設定させている(図2)。また、生徒が自分の価値観や経験、強みを、質問カードやチェックリストといった学校独自のツールを用いて自己評価や相互評価をする機会を設け、自らが立てた問いと過去の経験や将来との関連に気づかせる振り返りを実施している。

そして、マインドマップなどを使って探究学習での様々な学びや経験を教師と対話をしながら振り返る中で、進路の新たな可能性に気づく生徒も多くなる。「マインドマップの中心にある探究テーマではなく、探究テーマから派生した事柄が進路選択につながるケースも少なくない」と後藤先生は語った。

*2 LOGIC=Logicity (論理性)、Objectivity (客観性)、Global (グローバル)、Innovativeness (革新性)、Creativity (創造性)

探究学習での成長を 進路検討会の資料に盛り込む

23年度からは進路検討会のあり方も変わった。進路検討会で配布する資料には、探究テーマや取り組みの内容、キャリアデザインの意向、身についたコンピテンシーを盛り込むようにした(図3)。進路検討会には、過去に対象の生徒の探究学習にかかった教師も参加し、探究学習の成果を生かすことができる進路はどこかを複数の教師の視点で検証し、生徒にフィードバックしているという。

探究学習と進路学習の連携が進む同校だが、探究学習のテーマや研究内容を年内入試につなげられる生徒が増えることだけを期待しているわけではないと後藤先生は説明する。現状、大学でも探究テーマに継続して取り組むことを希望して進路を選ぶ生徒は1、2割程度で、多くの生徒は、探究学習の取り組みを発展させるとどのような研究分野や研究スタイルとマッチングしそうかという広い視点で進路を選んでいく。それは、探究学習を通して、自分の価値観や経験、強みを、生徒が言語化できているからだ。と後藤先生は考

えている。「探究テーマが直接進路につながるなくても、探究学習を通して身につけた積極性や調整力などの資質・能力を自分の武器として打ち出し、進路を実現する生徒が増えてきた。探究テーマと異なる学部・学科に進む生徒は今後も増えるだろう」と後藤先生は展望を語った。

同校では、「総合的な探究の時間」以外の授業も探究型にしていいため、全教科で探究の「問い」を作る授業改善に取り組んでいる。年度当初に全教師が参加して、探究型の授業づくりの研修を行うことができているのも、探究学習が生徒の進路実現に大きくかわっているという共通認識が校内に醸成されているからだ。と後藤先生は説明した。今後は、探究学習で蓄積された活動記録を進路学習に還元するデータベースのあり方や、探究テーマとは異なる文献を読んだり、小論文を書いたりして生徒の視野を広げさせる指導を検討していきたいという。

学校ぐるみで生徒の 「マイ・ストーリー」構築を支援

宇土高校では、探究学習と進路学習

を担当する分掌が統合し、将来就きたい職業や志望校を起点にした「なりたい自分」と、自身の興味・関心を起点にした「したい自分」という2つの視点から生徒の進路観の醸成を促す体制を整えた。そして、探究学習における学びや経験と、それらを通じて身についた力や将来とのつながりを自覚させ

ることで、今後、自分はどう生きていきたいかを、探究学習の振り返りを通じて生徒が展望を描けるようにした。さらに、探究学習における生徒の変化や成長を、進路検討会などを通じて教師間で共有し、生徒の「マイ・ストーリー」の構築を、学校全体で支援するようになっている。

キャリアデザインの視点で進路検討会を実施

図3 3年次 10月の進路検討会資料(抜粋)

◎キャリアデザインに関する生徒の意向

【現在】 志望する自分	●●大学●●学部●●学科
【未来】 ヴィジョン	地熱エネルギーの普及に向けた地熱発電の課題解決や新しい再生可能エネルギーの開発にかかわる研究がしたい
【将来】 学びたいこと	世界の資源や環境にかかわる問題 発電の仕組み 非在来型資源の利用
【過去】 経験・体験	熊本地震の経験 環境問題の解決に向けてSDGsなどの取り組みが世界で行われていること

◎探究学習テーマ及び実績

探究活動		活動歴・実績
ロジックリサーチ	睡眠とストレスの関係	●●年●月 ●●研究発表会(県内高校生対象)
ブレ課題研究	睡眠と記憶の関係	●●年●月 ●●大学と研究に関するディスカッション
課題研究	昼寝に最適な音楽を探る	●●年●月 ●●大会国際会議(オンラインで英語発表)

3年次 10月の進路検討会で配布する資料には、生徒の希望進路や評定、模擬試験の結果といった、以前から活用していた情報に加えて、高校で取り組んできた探究テーマや取り組みの内容、育成を目指す資質・能力に関する評価スコアなどを盛り込んでいる。進路検討会の資料は、ウェブサイト『VIEW next ONLINE』(<https://view-next.benesse.jp/view/cat/bkn-hs/>) からダウンロード可能。



※学校資料を基に編集部で作成。

内省で過去・現在・未来をつなげ、「マイ・ストーリー」を構築する

探究学習のプロセスの中に
進路につながる内省の場をつくる

そもそも明確な志望理由を含む「マイ・ストーリー」とはどのようなものなのだろうか。例えば、「幼少時に病気で入院したことがあり、それがきっかけで看護師に憧れるようになった」といった過去の経験から、ある職業を目指す生徒は少なくない。しかし、高校時代のどのような学びや経験が、自分の志望を確かなものにするものになったか、なごったかを内省しなければ、過去・現在・未来を貫く明確な志望理由を含む「マイ・ストーリー」にはならない。

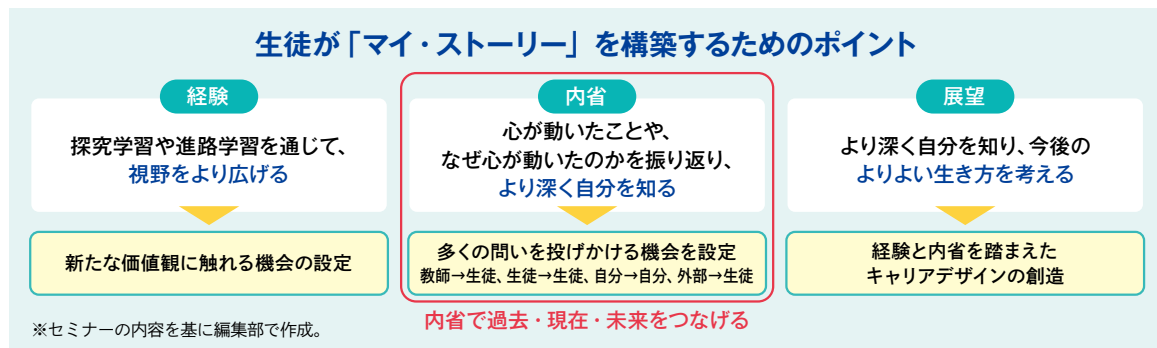
つまり、生徒が探究学習を始めとする高校時代の学びや経験を内省し、過去・現在・未来のつながりを見だし、ていくことで、「看護師」という職業で得られる喜びが自分にとって大きな意味を持つことを、探究学習の中で経験した〇〇で確信した」といったように、

明確な志望理由を含む「マイ・ストーリー」として語ることができるようになるだろう。

また「マイ・ストーリー」の構築によって、自分の進路を幅広く考えることもできるようになる。例えば、高校時代の探究学習の中での様々な経験を通して、自分が生きていく上で大切にしたい価値観に気づくことができれば、「看護学だけではなく、心理学や社会学からもアプローチができるかもしれない」などと、進路の選択肢を広げていくこともできるだろう。

探究学習での学びや経験を軸に、生徒が自分の過去と未来をつなぐためには、探究学習を充実させるだけでなく、探究学習のプロセスの中に、進路につながる探究学習での学びや気づきを繰り返し内省させる場をつくることが重要であるということ、宇土高校の事例が示している。

生徒が「マイ・ストーリー」を構築するためのポイント



2023年度 進路・キャリア×探究セミナー

これからの「総合的な探究の時間」と進路学習について考えるアーカイブページのご案内

多くの学校から『総合的な探究の時間』に力を入れて取り組んではいるものの、従来型の進路学習との両立が難しい」といった声を伺う中で、本セミナーでは、低学年次における「総合的な探究の時間」を軸にしなが、生徒の明確な志望理由の支えとなる進路・キャリア観をいかに醸成するか、実践事例を基にそのポイントをご紹介します。下記のセミナーアーカイブページより、ぜひ詳細をご覧ください。

https://bhsou.benesse.ne.jp/hs_online/sidou/shinkatei/article/20231206_sougotekitankyu/

アーカイブ動画・資料公開!

◎本セミナーで紹介した、進路・探究・小論文学習ができる統合型デジタル教材「キャリアナビ」の詳細は、右の2次元コードまたは下記 URL からご覧ください。

https://www.benesse.co.jp/tankyu/career_demo/taiken_top.html

